

情報公開文書

研究の名称	高齢口腔癌患者における S-1 併用 CDDP 動注化学療法の臨床的検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学附属病院 歯科口腔外科 助教 櫻井航太郎
研究の概要	<p>【研究対象者】 2007 年 4 月から研究期間終了までに富山大学附属病院歯科口腔外科に受診し、組織診にて口腔扁平上皮癌と診断され、動注化学療法を適用した 65 歳以上の症例</p> <p>【研究の目的・意義】 現在日本は急速に高齢化が進んでおり、高齢口腔癌患者を治療する頻度が増加しています。高齢者においては身体機能、予備力、併存疾患、認知機能、社会背景の観点から標準治療が困難なことが多々あります。また、治療開始までの待機期間が生じることがあり待機期間中の疾患の進行は過小評価できず、手術可能性や術後の根治性、機能に影響を及ぼす可能性があることから、様々な導入化学療法（以下 ICT）が広く用いられています。当科では有害事象を抑えたレジメンとして、Seldinger 法によるシスプラチンの超選択的動注化学療法と経ロテガフル剤である S-1 を併用した ICT を考案し、使用してきました。しかし、高齢口腔癌患者における本レジメンの有効性や安全性はまだ十分示されてはいません。本研究の目的は、高齢口腔癌患者における動注化学療法の有効性や安全性を後方視的に検討し、高齢口腔癌患者における動注化学療法の前向き試験に繋げることです。</p> <p>【研究の方法】 選択基準をみだし除外基準に触れない症例を対象に、電子カルテから直接データベースに入力し、統計学的解析を行います。</p> <p>【研究期間】 承認日から 2025 年 3 月 31 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 本研究結果は口腔外科学または腫瘍学に関連した学会、医学雑誌にて発表する予定である。研究対象者を特定することが可能な情報は一切含まれておりません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	選択基準をみだし除外基準に触れない症例を対象に、原資料（電子カルテ）を利用します。研究対象者を特定することが可能な情報は削除し、他の情報と照合しなければ個人を識別できないように加工します。他機関への情報の提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 歯科口腔外科 助教 櫻井航太郎
研究対象者、親族等関	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について

係者からの相談等への 対応窓口	て下記の窓口で対応いたします。 電話 0764342281 FAX 0764345041 E-mail sakurai@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院歯科口腔外科 担当医師 櫻井航太郎
--------------------	---